

こんにちは♪ **貸出一万冊を達成！**とお伝えしたばかりですが、**昨年度の総貸出冊数の倍（！）もクリアー！**してしまったので、改めて報告します。みんなありがとう♪ 図書館を訪れて、本をたくさん借りてくれたみなさまのおかげです。たくさん、たくさんのご利用ありがとうございました♪ 君たちと本との出会いが1万回あった、昨年度の倍もあった、という事実を心からうれしく思います。現在、ほとんど**11000冊！** どこまで数を伸ばせるか楽しみにしています。

さて先日、**芥川賞と直木賞の発表がありました！**

芥川賞は**九段理江**さんの『**東京都同情塔**』が受賞！ 直木賞は**河崎秋子**さんの『**ともぐい**』、**万城目学**さんの『**八月の御所グラウンド**』が受賞しました！

今号の図書館通信では、まず直木賞残念でしたの加藤シゲアキ君のノミネート作を、そのあとで二作の直木賞受賞作を表面で紹介します。芥川賞受賞作は後日に。

『なれのはて』 加藤シゲアキ

テレビ局の報道局の第一線で活躍していた守谷京斗もりやきょうとは、ある事件のためにイベント事業部へと飛ばされることになった。そこは取材力などとは無縁の、テレビ局の関わるさまざまなイベント（デパートで大人気のアニメイベント！）を手がける部署で、守谷からすれば流刑とも言えた。まったくやる気の起きないままそこに出向くと、自分よりも年下のフラワーな70年代ファッションの女性・吾妻李久美あづまりくみが指導役になることになった。しつこくつきまとう彼女になぜイベント事業部を希望したのか尋ねると、「好きな絵があるんです」と言う。亡くなった祖母からいま着ている洋服とともに譲り受けた一枚の絵。彼女はその絵を見たたん、自分の何かが変わったと感じた。たった一枚の絵が一人の人間を変えてしまう。他の人にもそういう体験を持ってほしいと希望したのだそうだ。少年の絵だ。裏に「ISAMU INOMATA」とサインのある。だが、調べても素性はまったくわからず、作品もその一枚しかないのだという。守谷は「無名の天才『イサム・イノマタ』～たった一枚の展覧会～」というかたちでの開催を提案する。実現に向け謎の画家の正体を探り始めると、1961年の元日に秋田の石油会社の社長が焼死した事件の同日から失踪している弟であることがわかる。そこは、終戦前夜の最後の空襲「土崎空襲」が行われた地だった…。

直木賞受賞作！

☆『ともぐい』 河崎秋子

直木賞にふさわしい大傑作！ 人里離れた山のなかでひとり生きる熊猟師の生き様を描いた骨太で壮絶な作品。しかも、この類によくありがちな敵であるラスボスの大熊を倒すまでを書いただけの話ではないのです！ 息つく暇もなく、ストーリーが展開していき、より大きな物語が語られます。舞台は北海道の東部、白糠の山中。家族はいず、名のない犬とだけ暮らす熊爪は、鹿や熊を殺し、解体し、必要に駆られたときだけふもとに降りてきて、それをお金に換えて暮らしていた。それが当たり前で、変わりたいとも思わず、そんな生活を繰り返してきたが、春の訪れが近づくころ、山中で片目をつぶされるほどの大けがを負った猟師の男を見つける。彼は冬眠のできなかった熊「穴持たず」を阿寒から追ってきたのだが、仕留めることができず逆襲されてしまったのだった。熊爪は男を助け、穴持たずを倒すことになる。ところが、ようやく見つけた穴持たずは、目の前でより若くて巨大な熊に倒されてしまい、熊爪も腰の骨を割る重傷を負い、しばらくは猟のできない体にされてしまう。穴持たずと闘い仕留めるべき存在は自分ではなかったことを、思い知らされたのだ…。「死に損ねて、かといって生き損ねて、ならば己は人間ではない。人間のなりをしながら、最早違う生き物だ」。

『八月の御所グラウンド』 万城目 学

女子全国高校駅伝を描いた「十二月の都大路上下ル」と、草野球の試合を描いた表題作、京都が舞台の「京都ならありえるかもしれない」と思わせる時を超えた邂逅を語る2作を収録。タイトルの「御所グラウンド」とは京都御所の公園にあるグラウンドのことです。「八月の京都の暑さに勝てる者などいない」。夏休みは彼女の実家の高知でのんびり過ごすつもりだったが（四回生で就職活動のためにそれどころではないはずだが）、「あなたには、火がないから」という理由でフラれ、やることもなく殺人的な暑さの京都にひとり取り残された俺は、友人の多聞に誘われ、朝6時からの草野球の5連戦に参加させられることになる（高級な焼肉をおごられ、3万円の借金もあり、断れなかったのだ）。9人びったり、寄せ集めのチームで、なんとか第1試合は勝てたものの、第2試合では2人欠員が出てしまい、あわや試合不成立で敗北となるところを、たまたま居合わせた知り合いの女子中国人留学生と、彼女が声をかけて巻き込んだ公園にいた人で、なんとか試合を行うことができたのだが…。

『となりのナースエイド』 ちねんみきと 知念実希人

本校でも大人気、知念実希人の文庫書き下ろし最新作が、川栄李奈&恒松祐里W主演でTVドラマ化！ タイトルのナースエイドとは、看護助手のことです。「食事介助やおむつ交換、体の洗浄、検査室への搬送なんかをするナースエイドは、医師よりも、看護師よりも、患者さんと過ごす時間が長い。患者さんは私たちに心を開いて、ドクターやナースにはできない相談をしたり、悩みを打ち明けたりする。もっとも患者さんの身近にいる医療従業者、それこそが私たちナースエイドなのよ」「たしかにナースエイドは資格がなくてもできる仕事よ。医療行為ができず、雑用をこなすだけの私たちは、医療については『素人』かもしれない。けれど私たちは間違いなくプロ。ドクターが『患者さんを治すことのプロ』、ナースが『医師をサポートすることのプロ』なら、私たちは『患者さんに寄り添うプロ』ね」。星嶺大学医学部附属病院きくらはびょういんの外科病棟に配属された新米ナースエイドの桜庭滯は、その病院が技術至上主義で、手術の腕前によって、ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナと明確にランク付けされていることに驚く。プラチナの医師ともなると、手術のスペシャリストで、いっさいの雑用はする必要がなく、朝から晩まで手術だけをしているそうだ。そんなプラチナのなかでもトップクラスの統合外科のエースが、竜崎大河だ。イケメンの天才外科医である彼は、誰もが一目置く特別な存在だが、患者の人命がかかっているとき、滯はナースエイドの分際で大河に意見してしまうのだった。偶然にも彼女のアパートと隣室の住人でポルシェ・カイエンの所持者が彼だった。「私はもう……医療行為はしない。だから、ナースエイドになったの……」。ミステリアスな大河よりも、滯は大きな秘密を抱えていた…。

『舟を編む』 三浦しをん

「本屋大賞」を受賞し、松田龍平・宮崎あおい主演の映画も大ヒットし、アニメ化もされた名作が、今度は野田洋次郎・池田エライザ主演でTVドラマ化です！ 愛あふれる辞書づくりの物語。「辞書は、言葉の海を渡る舟だ」。大手の出版社・玄武書房まじめみつやに勤める「まじめ」という冗談みたいな名字の馬締光也は、常人にはわからない辞書作りの才能を見初められ、辞書編集部を迎え入れられる。辞書をこよなく愛するベテラン編集部員がもうすぐ定年になるため、その後継として、念願の新しい辞書『大渡海』だいつかいを編纂する仲間として。果たして、彼は辞書作りの戦力となるのか？ 下宿に現れた運命の女性「かぐや」との恋の行方は？ ああ、こんなに辞書作りが楽しいものだったなんて！

『夜明けのすべて』 瀬尾まいこ

『そして、バトンは渡された』で本屋大賞受賞後第1作が、松村北斗&上白石萌音のW主演で映画化！美紗はPMS（月経前症候群）だ。月に一度、訳もなくイライラして、かっとな血が上って攻撃的になってしまう。そのせいで前の会社も辞め、いまは老人ばかりの社員6名のゆるい小さな会社でなんとかやっていた。ところが、転職してきたばかりのやる気のなさそうな山添君に怒りを爆発させてしまう。そして、会社で発作を起こしたことから、彼がパニック障害であることを知る。山添君も病気のせいで、転職を余儀なくされたのだった。いらだちを感じた行動も病気のせいだった。そうと知った美紗はじっとしていられなくなって、いきなり山添君のアパートに押しかけて伸びきった彼の髪を切ってあげようとする。人の髪なんて切ったことなどなくせに。こけしみたいにされてしまった自分の髪型を鏡を見て、山添君は2年ぶりに笑ったのだった…。「男女間であろうとも、苦手な相手であろうとも、助けられることはある」。

『夜明けを待つ』 佐々涼子

「私は自分の文章を書く時にひとつだけ決めていることがある。それは誰かをかわいそうな人と決めつけて、そう書かないこと。それはとても表層的な見方だからだ」。国境を越えて遺体を運ぶ専門業者を書いた『エンジェルフライト 国際霊柩送還士』、東日本大震災の被災地を書いた『紙つなげ！ 彼らが本の紙を造っている』、在宅での終末医療を書いた『エンド・オブ・ライフ』、日本における外国人問題を書いた『ボーダー 移民と難民』。刺さる優れたノンフィクションを続々と世に送り出してきた佐々さんの、単行本未収録のエッセイとルポタージュをまとめた本。軽い気持ちで読んでみたら、あとがきに衝撃の事実が書かれていました。死をテーマにした本を何冊も出した彼女ですが、なんと自身が極めて悪性の脳腫瘍、「希少がん」の「グリオーマ」に罹っていて、余命は14ヶ月なのだそうです。発病したのが一昨年の11月だそうで、まさにいま彼女は「終末期」にいます。もしかすると、この本が遺作になるのかもしれませんが。十年前に難病になって亡くなった彼女の母は、「死とは何か」ではなく「生きていくこと」の意味を教えてくれたのだそうです。はたして、残された時間で彼女は何を伝えてくれるのでしょうか。

♡バレンタインの展示でずらりと並んだゴディバのケースを見た生徒から、「こんなに買ったんですか？」と尋ねられました（泣）。いただいたの！でも、最近のバレンタインは、ダイエットのために気持ちだけいただくことにしています。では、図書館で。